

2. 授業科目一覧 高度教職実践専攻

授業 名称	授 業 方 法	単 位 数	修 了 要 件 上 の 区 分	必 修	選 択 必 修	教員免許法に対応する区分						リ ー ダ ー ブ ロ グ ラ ム	教 育 管 理 職 養 成 プ ロ グ ラ ム
						区 分	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	幼 稚 園	養 護 教 諭		
カリキュラム・マネジメント論	講義	2	共通科目 (①教育課程の編成・実施に関する領域)		○	基	○	—	—	○	—		
社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメント	演習	1	共通科目 (①教育課程の編成・実施に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
道德教育実践研究特論	演習	1	共通科目 (①教育課程の編成・実施に関する領域)		○	道	○	○	○	—	—		
特別活動実践研究特論	演習	1	共通科目 (①教育課程の編成・実施に関する領域)		○	道	○	○	○	—	—		
学校行事事例研究	演習	1	共通科目 (①教育課程の編成・実施に関する領域)		○	道	○	○	○	—	—		
ICTを活用したSTEM授業づくり演習	演習	1	共通科目 (①教育課程の編成・実施に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
学校教育実践研究Ⅰ	演習	2	共通科目 (②教科等の実践的な指導方法に関する領域)		○	基	○	○	○	—	—		
学校教育実践研究Ⅱ	演習	2	共通科目 (②教科等の実践的な指導方法に関する領域)		○	基	○	○	○	—	—		
情報活用能力の育成とICT活用	演習	1	共通科目 (②教科等の実践的な指導方法に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
学校教育実践演習Ⅰ	演習	2	共通科目 (②教科等の実践的な指導方法に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
学校教育実践演習Ⅱ	演習	2	共通科目 (②教科等の実践的な指導方法に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
ICTの効果的な指導法	演習	1	共通科目 (②教科等の実践的な指導方法に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
認知・学習心理学 ^{※1}	演習	2	共通科目 (②教科等の実践的な指導方法に関する領域)		○	基	○	—	—	—	—		
教育心理臨床学	講義	1	共通科目 (③生徒指導、教育相談に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		
教育臨床ケースカンファレンスⅠ	演習	2	共通科目 (③生徒指導、教育相談に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		
教育臨床ケースカンファレンスⅡ	演習	2	共通科目 (③生徒指導、教育相談に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		
心理発達支援論	講義	1	共通科目 (③生徒指導、教育相談に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
うつや不安になりやすい考え方を理解する	講義	1	共通科目 (③生徒指導、教育相談に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
教室におけるコミュニケーションと対人関係の心理学	講義	1	共通科目 (③生徒指導、教育相談に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
教育行財政と学校	講義	1	共通科目 (④学級経営、学校経営に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
学級経営の理論と応用	演習	1	共通科目 (④学級経営、学校経営に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		
地域教育と新たな学校づくり	演習	1	共通科目 (④学級経営、学校経営に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
保護者対応事例研究	演習	2	共通科目 (④学級経営、学校経営に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
スクールマネジメントとコミュニティ	講義	1	共通科目 (④学級経営、学校経営に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
学校評価実践研究	演習	1	共通科目 (④学級経営、学校経営に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
学級・学校経営の諸問題	演習	1	共通科目 (④学級経営、学校経営に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		
教育法規特論	講義	2	共通科目 (⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		必修
教育委員会と学校	演習	1	共通科目 (⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
危機管理論	講義	1	共通科目 (⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		選択
教員のメンタルヘルス	演習	1	共通科目 (⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)		○	基	○	○	○	○	○		
ミドルリーダー養成特別演習	演習	2	共通科目 (必修) (⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)	○		基	○	○	○	○	○		選択
教員研修特別演習	演習	2	共通科目 (必修) (⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)	○		基	○	○	○	○	○		選択
これからの校内研究と教育効果の検証	講義	1	共通科目 (⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)		○	道	○	○	○	○	○		
教育臨床の視点と実践Ⅰ	演習	2	分野別科目 (学校教育臨床分野)		○	基	○	○	○	○	○		
教育臨床の視点と実践Ⅱ	演習	2	分野別科目 (学校教育臨床分野)		○	基	○	○	○	○	○		
学校教育と児童福祉の連携Ⅰ	演習	2	分野別科目 (学校教育臨床分野)		○	基	○	○	○	○	○		
学校教育と児童福祉の連携Ⅱ	演習	2	分野別科目 (学校教育臨床分野)		○	基	○	○	○	○	○		
子どもの抱える困難の理解と支援Ⅰ	演習	2	分野別科目 (学校教育臨床分野)		○	道	○	○	○	○	○		
子どもの抱える困難の理解と支援Ⅱ	演習	2	分野別科目 (学校教育臨床分野)		○	道	○	○	○	○	○		
子どもの「きく」力と学習指導	講義	1	分野別科目 (学校教育臨床分野)		○	道	○	○	○	○	○		
学校経営の理論と実際Ⅰ	演習	2	分野別科目 (スクールマネジメント分野)		○	基	○	○	○	○	○		選択
学校経営の理論と実際Ⅱ	演習	2	分野別科目 (スクールマネジメント分野)		○	基	○	○	○	○	○		選択
学校の国際化Ⅰ	演習	2	分野別科目 (スクールマネジメント分野)		○	基	○	○	○	○	○	選択必修	選択
学校の国際化Ⅱ	演習	2	分野別科目 (スクールマネジメント分野)		○	基	○	○	○	○	○	選択必修	選択
教育政策と学校Ⅰ	演習	2	分野別科目 (スクールマネジメント分野)		○	基	○	○	○	○	○		選択
教育政策と学校Ⅱ	演習	2	分野別科目 (スクールマネジメント分野)		○	基	○	○	○	○	○		選択
デジタル社会における授業研究	演習	1	分野別科目 (ICT・教育DX分野)		○	道	○	○	○	○	○		
教育データ活用実践演習	演習	2	分野別科目 (ICT・教育DX分野)		○	道	○	○	○	○	○		

授業名称	授業方法	単位数	修了要件上の区分	必修	選択必修	教員免許法に対応する区分						グローバル リーダー プログラム 対応	教育 管理 職 養成 プログラム
						区分	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	養護教諭		
教育DXと授業	講義	2	分野別科目（ICT・教育DX分野）		○	道	○	○	○	○	○		
教育データ概論	講義	1	分野別科目（ICT・教育DX分野）		○	道	○	○	○	○	○		
ICTを活用した理科授業づくり演習	演習	1	分野別科目（ICT・教育DX分野）		○	基	○	○	○	○	○		
ICTの教育利用	演習	1	分野別科目（ICT・教育DX分野）		○	道	○	○	○	○	○		
生成AI導入実践演習	演習	1	分野別科目（ICT・教育DX分野）		○	道	○	○	○	○	○		
現代的教育課題への具体的取組	講義	1	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
DX関連企業と連携した授業づくり	演習	2	現代的教育課題科目			基	○	○	○	○	○		
情報社会と情報モラル	演習	1	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
発達が気になる子どもの心理学	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
特別支援教育に関わる実践的理論	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
自閉症スペクトラムの認知心理学	演習	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
発達障害児の発達支援	演習	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
小中学校における特別支援教育論	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
外国語特別研究	演習	1	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
多文化時代のシティズンシップ教育	演習	1	現代的教育課題科目			基	○	○	○	○	○	選択	
学校の国際化比較研究A	演習	1	現代的教育課題科目			基	○	○	○	○	○	選択必修	
学校の国際化比較研究B	演習	1	現代的教育課題科目			基	○	○	○	○	○	選択必修	
ASEAN展開授業研究	演習	1	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
小学校道徳教育実践研究	演習	2	現代的教育課題科目			道	○	—	—	—	—		
学校の現代的教育課題	演習	1	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
肢体不自由児の心理と教育	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
多文化共生社会の道徳教育	演習	1	現代的教育課題科目			道	○	○	○	—	—	選択必修	
児童生徒の心の健康と発達の心理学	演習	2	現代的教育課題科目			道	○	○	○	○	○		
小学校横断型授業づくり実地研究 ^{※1}	演習	2	現代的教育課題科目			道	○	—	—	—	—		
横断型授業づくり実践研究Ⅰ ^{※1}	演習	2	現代的教育課題科目			道	○	○	○	○	○		
グローバル展開授業研究	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
外国語特別研究I	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
外国語特別研究II	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
日本語教育・日本文化特論	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
日本文化理解	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
グローバル言語・文化研究	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
教育アウトリーチ研究	実習	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
連携校授業研究	実習	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
海外教育実地研究	実習	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
グローバルアカデミー	—	1	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—		
異文化間教育学	講義	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
異文化間教育学演習	演習	2	現代的教育課題科目			—	—	—	—	—	—	選択	
専門教職実践研究法	演習	2	実践研究指導（必修）	○		—	—	—	—	—	—		
実践研究報告	実習	2	実践研究指導（必修）	○		—	—	—	—	—	—		
高度教育実践Ⅰ	実習	3	実習（必修）	○		基	○	○	○	○	○		
高度教育実践Ⅱ	実習	3	実習（必修）	○		基	○	○	○	○	○		
高度教育実践Ⅲ	実習	4	実習（必修）	○		基	○	○	○	○	○		
高度教育実践Ⅳ	実習	1	実習			基	○	○	○	○	○	選択	
高度教育実践リフレクションⅠ	演習	1	実習			基	○	○	○	○	○		
高度教育実践リフレクションⅡ	演習	1	実習			基	○	○	○	○	○		
グローバルフィールドワークⅠ	実習	1	実習			—	—	—	—	—	—	選択	
グローバルフィールドワークⅡ	実習	1	実習			—	—	—	—	—	—	選択	

(注) 「教員免許法に対応する分類」の欄において、○印が付いている授業科目は、最上欄に記載されている種類の教員免許状を取得するために使用できることを示しています。

「中学校」「高等学校」欄において、○印が付いている授業科目は、教育学研究科で課程認定を受けているすべての免許教科（中学校であれば国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語について、高等学校であれば国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、家庭、情報、工業、英語）について使用できることを示しています。

※免許法区分の略号については以下の通りです。なお、いずれも教育職員免許法規定区分の「大学が独自に設定する科目」の単位として計上されます。

基：教育の基礎的理解に関する科目

道：道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

※1 教育学研究科修士課程で開講される科目ですが、教職大学院の院生が単位を修得すれば表中の修了要件上の区分として単位の修得が認められます。平成30年度以前の入学生にも適用されます。

7. 教育職員免許状の取得方法

- (1) 本研究科の各専攻において取得できる教育職員免許状（以下「教員免許状」）は、別表1のとおりです。本研究科を修了すれば自動的に教員免許状が取得できるわけではありません（修了に必要な科目と免許取得に必要な科目は異なります）。

教員免許状を取得する場合は、以下の注意事項を参考にして取得しようとする教員免許状の種類に対応した科目の履修を行ってください。

また、本研究科で取得することができる教員免許状は専修免許状のみです。一種免許状や二種免許状を取得することはできません。

- (2) 教員免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数は、別表2のとおりです。
 (3) 取得しようとする教員免許状の種類（免許教科）に対応する本研究科の開設授業科目は、「2. 授業科目一覧」のとおりです。授業科目と対応する教員免許状の種類（免許教科）に注意のうえ、必要な単位を修得してください。

(例) 中学校教諭専修免許状（国語）を取得する場合に必要な要件

- ① 中学校教諭一種免許状（国語）を有していること
- ② 中学校教諭専修免許状（国語）に使用できる授業科目を24単位分修得すること
- ③ 本研究科を修了すること（修士の学位を有すること）

【別表1】

専 攻	取得できる教員免許状の種類（教科）
高度教職実践専攻	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 （国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語） 高等学校教諭専修免許状 （国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，保健，家庭，情報，工業，英語） 幼稚園教諭専修免許状 養護教諭専修免許状

【別表2】

教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	教育職員免許法規定区分
小学校教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び小学校教諭一種免許状を有すること	24	大学が独自に設定する科目
中学校教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び中学校教諭一種免許状（取得を希望する免許教科の一種免許状）を有すること	24	大学が独自に設定する科目
高等学校教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び高等学校教諭一種免許状（取得を希望する免許教科の一種免許状）を有すること	24	大学が独自に設定する科目
幼稚園教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び幼稚園教諭一種免許状を有すること	24	大学が独自に設定する科目
養護教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び養護教諭一種免許状を有すること	24	大学が独自に設定する科目